



# かまがわ

第5号  
2011.12

## 新外来診療棟が始動

～最適な医療をこれからも提供します～



### 1. 特集／

小児医療センターができました  
外来が移転しました

### 2. 診療科・中央部門紹介／小児科

### 3. トピックス

### 4. 院内取組紹介／医療安全管理部

### 5. くすりの豆知識／薬疹

### 6. 健康・予防の豆知識／

「誤嚥（ごえん）」って何？

### 7. 病院からのお知らせ

病院ボランティア募集のお知らせ

かまがわ

## 病院理念

## 世界トップレベルの医療を地域へ

### 基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。
- 患者様の権利を尊重し、患者様本位の医療を提供します。
- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

### 患者様の権利

- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。

## 新外来診療棟が完成！！

メディカルセンター及び小児医療センター外来に次いで、5階に小児医療センター病棟がオープン。1階での外来診療もスタートしました。

# 小児医療センターができました

小児医療センターは、腫瘍、血液、アレルギー、循環器、腎臓、神経、内分泌・代謝、乳児発達の小児科の高度専門領域に総合診療部を加えた内科系診療と、消化器疾患を中心とした小児外科、先天性心疾患を中心とした小児心臓血管外科の外科系診療部が密接な連携のもと診療を行います。

今回、新外来診療棟5階にオープンした病棟は、色彩あふれる機能別の4つのエリアからなっています。

HCUや無菌治療室を始め、より高度な医療を提供できる施設を整備し、屋上庭園やプレイエリアなどのアメニティも充実しました。

今後は各診療科の医師や看護師などが連携し、より充実した医療を提供します。



## HCU

重症患者に対応したハイケアユニット（HCU）を整備しました。

## 無菌治療室

骨髄移植や再生医療など最先端の治療に対応する、無菌治療室を整備しました。



## 屋上庭園



病気とたたかう小児患者を癒す緑化空間です。  
大文字や比叡山、鴨川の風景が楽しめます。

## プレイエリア

入院中の子どもたちが楽しく遊べる場を充実しました。



## ファミリールーム

ご家族やご友人、患者さん同士のコミュニケーションの場としてご利用いただけるスペースです。



## 家族控え室

手術などの様態を見守るため、ご家族が待機できるお部屋です。

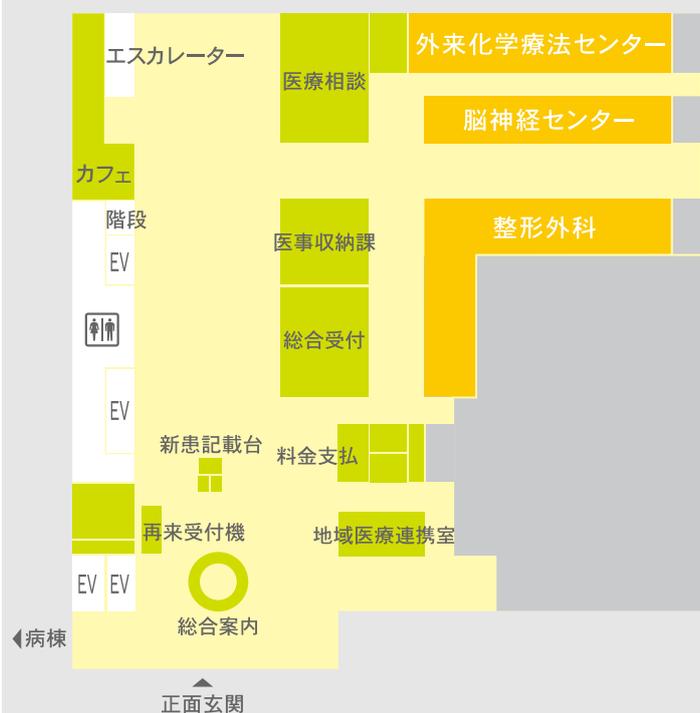


## 外来が 移転しました

外来診療棟の整備が完了し、10月に整形外科外来、脳神経センター（神経内科、脳神経外科）が移転し、新外来診療棟1階での診察を開始しています。

また、外来化学療法センターも移転しました。

### 外来診療棟



子どもとその未来を守るために！

# 小児科

～未来を見据えて人と社会に  
働きかけていく学問と医療～

## 特色

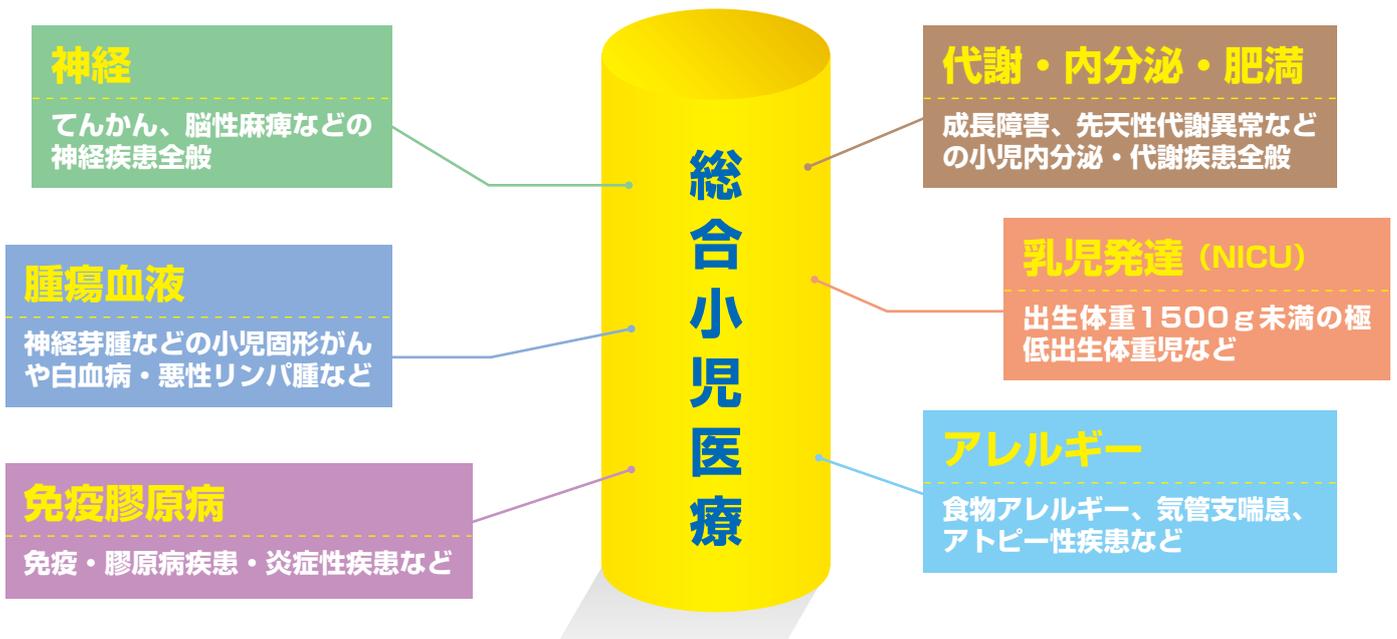
小児科学と小児医療は、多数の専門分野に細分化された現代医療においても、小児の各専門領域を各々深く研究するだけでなく、小児を全般的に把握し、環境的・社会的要因を含めた視点で行われる全人的・包括的医療です。

当科では、総合外来と以下のような専門外来および専門的入院医療、ならびに他科各専門分野間の密接な連携を行い、一人一人の患者さんと家族の視点に立った医療を心がけています。

## 診療内容・対象疾患

小児の神経、代謝・内分泌、肥満、腫瘍、血液、小児がん長期フォローアップ、膠原病・リウマチ、アレルギー、頭痛、予防接種、心理、周産期診療部NICUと乳児および発達検査の専門外来があります。

小児医療センター開設に伴い、小児外科、小児心臓血管外科、小児循環器・腎臓科の各専門医師らと連携して、同じセンター内外来・病棟で診療を行えるようになり、高度・専門的かつ患児とその家族へのQOLの高い先進医療ならびに地域連携医療ができるようになりました。



## 地域医療に貢献

近年、地域での小児科医不足の問題が全国的に生じてきています。

このため本学は、京都府域を中心に診療所と中核病院、大学病院からなるネットワークを形成し、優秀で心ある小児科医を育成し、世界トップレベルの小児医療を地域に提供できるよう努めています。

今後も子どもたちの未来と未来の小児医療の発展のために尽力します。



# TOPICS

## レストラン「オリゾンテ」がオープンしました



8月22日（月）に、新外来診療棟4階に京都ホテルオークラ直営のレストラン「オリゾンテ」がオープンしました。

高級ホテルの提供する質の高いサービスをお楽しみいただけます。

（営業時間） 平日 8:30～19:00  
土日祝 11:00～15:00

## 院内コンサートを開催しました



\*平成23年3月開催の様子

本院では、入院中の患者さんにリラックスしていただけるよう、学生有志による院内コンサートを開催（年4回）、生演奏をお届けしています。9月29日（木）は、その57回目の開催となりました。

今回は、12月22日（木）にクリスマスコンサートの開催を予定しています。日程が近づきましたら、院内各所にて、ポスター等で詳細な時間や場所をご案内させていただきますので、ぜひ一度ご来聴ください。

## 小児医療センター開所式を行いました



10月8日（土）に、山田京都府知事、近藤京都府議会議長をはじめとした関係の方々をお招きし、小児医療センター開所式を執り行いました。

当日は、内覧会も併せて開催し、ご来院いただいた方々に当センターの充実した施設を見学していただきました。

## 新外来診療棟等新築工事総合竣工式を行いました



11月20日（日）に、新外来診療棟等新築工事総合竣工式を執り行いました。関係医療機関の方々や大学関係者等、300人を超える方々にご出席いただきました。

皆さまには、工事期間中、何かとご不便をおかけしておりましたが、ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。

はじめまして

# 医療安全管理部です！

医療安全管理部と聞くと、名前から考えて堅苦しい感じがするかもしれません。

「何をしているところだろう？」と思われるかもしれませんが… 私達は、患者さんが安全・安心な医療を受けていただくために、日夜活動しています。



## 活動の一部としては…

院内の様々な職場で起こった医療安全に関する問題は、すぐに電子カルテで医療安全管理部まで報告されてきます。その問題の対応策を、現場と共に考えています。

また、月に2回、医療安全管理部の会議を開き、そこで検討した内容をそれぞれの部署にフィードバックしています。

[医療安全研修会の様子▶](#)



院内、院外の講師を招いて、職員全員を対象とした研修会を年7～8回開催しています。

## 安全な医療を行っていくためには、患者さんの協力が必要になってきます。

### ●ご自分のお名前を伝えましょう！

点滴や検査、診察の前などには、フルネームを名乗りましょう。

### ●ころばないために、かかとの低い靴を履きましょう！

院内はご自宅とは違うため、転びやすい所もあります。

### ●治療や検査、病気などの説明はわかりましたか？

わからない時は遠慮なく、聞き直しましょう。

### ●ご自分が飲んでいるお薬はわかりますか？

色々な種類のお薬があります。「何かおかしいなあ」「わからないなあ」と思った時は、遠慮なく聞きましょう。



なお、活動の基本になる、医療安全管理指針は次のとおりです。

### 医療安全管理指針（抜粋）

本院においては、「世界トップレベルの医療を地域へ」という理念の下、以下の考え方を柱として、質の高い、安心、安全な医療を提供していく。

- 1 本院は、患者が安心して医療を受けられる環境を整え、提供する。
- 2 本院は、「人は誰でも間違える」という医療安全対策上の原則に立ち、過ちを誘発しない、その過ちが重大な被害に発展しないための体制をつくる。
- 3 本院は、医療事故発生時には、医療従事者に医療安全管理部に迅速な報告をさせ、その報告を受けた上での対応をとるための体制をつくる。
- 4 本院は、インシデント及び医療事故の調査分析、再発防止のための対策を行い、それらの情報共有を病院全体で行う。
- 5 本院は、院内研修を行い、職員の医療安全に対する知識と技術の向上に努め、院内全体の医療安全の体制と考え方の成熟を図る。

私たちは、皆さまと一緒に安心、安全な医療を目指していきたいと考えています。



医療安全サポート会議メンバー



# くすりの豆知識

## 薬疹

VOL.1

### 薬疹とは？

薬によって起こる皮膚の発疹などの症状で、目や口の中にも起こることがあります。抗生物質、かぜ薬、鎮痛剤などあらゆる薬で起こる可能性があります。

### どんな症状？

じんましん型や水ぶくれ、湿疹あるいは赤い斑点ができたりかゆみを伴うなど様々な症状があります。

薬を中止すればおさまるものから全身の皮膚や粘膜がただれたり後遺症を残すような重いものまで様々です。



### 現れるまでの期間は？

薬の服用直後から3日以内に現れる場合もあれば、10日目頃、あるいは1か月から半年たって現れる場合もあります。

### 治療法は？

病状がひどくない場合は出来るだけすべての薬を中断します。薬を止めると元の病気が悪化する可能性がある場合は自己判断で中断するのは危険です。必ず医師に相談してください。何にしても、薬疹が疑われる時は早急に医師や薬剤師に相談してください。

その際、使用しているすべての薬を伝えてください。飲み薬はもちろん、塗り薬や市販薬、常備薬なども含みます。



健康・予防  
の豆知識

リハビリテーション部 連載企画

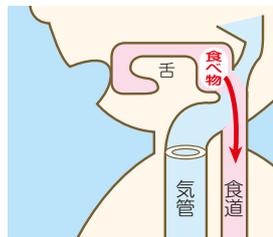
## 第3回 「誤嚥(ごえん)」って何？

### ①誤嚥(ごえん)とは？

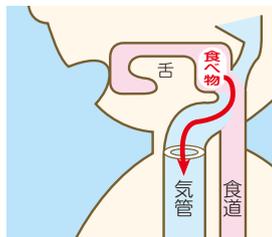
通常、口に入った食物は、のどを通り、食道から胃へと運ばれます(嚥下)。しかし唾液や食物が、空気の通り道である気管に誤って入ってしまうことがあります。

これを誤嚥といい、肺炎を起こす原因になります。

高齢者の肺炎の多くに誤嚥が関係しているといわれています。



通常の嚥下



誤嚥

### ②加齢とともに嚥下機能も老化します。

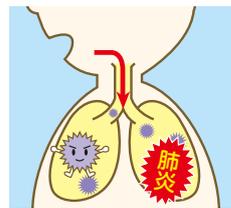
年をとると、

- ・歯が少なくなる・噛む力が弱くなる。
- ・唾液が少なくなる。
- ・飲み込みの反射やムセの反射が遅くなる。
- ・咳き込む力が弱くなる。

などにより、嚥下機能が低下し、誤嚥の危険性が増加します。

### ③こんな症状に注意！

- ・痰が絡んだような声(特に食後に悪化)
  - ・食事中にムセが多い など
- 他にも夜間の咳、原因不明の体重減少、脱水、発熱などがきっかけで誤嚥が見つかることがあります。



### ④誤嚥を防ごう！

食事中のムセや誤嚥は

- ・献立・食事形態の工夫
  - ・食事姿勢の工夫
  - ・飲み込み方の工夫
- などで改善する場合があります



リハビリテーション部では誤嚥を防ぐための支援や嚥下障害患者さんに対するリハビリテーションを主治医と協力して行っています。

今回は「運動で肥満を解消！」をご紹介します予定です。

# 病院からのお知らせ

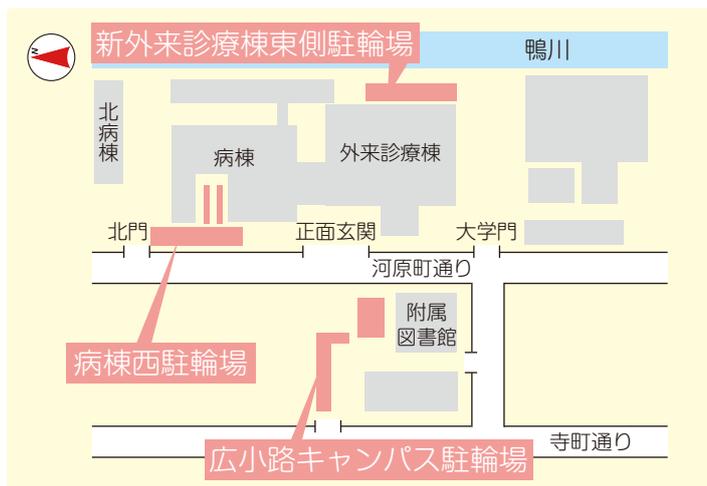


## (1) イベント・講演会等のご案内

事項	開催日時	内容	参加費	問合せ先	
1 がん患者・家族 サロン	1月11日(水) 2月1日(水) 3月7日(水)	本院の認定看護師やコメディカル等が、毎回がん治療に関するテーマで、お話しします。その後意見交換をします。	無料	京都府立医科大学 がん患者・家族支援 検討会 075-212-5426	
	各回とも 13:30~15:00	<table border="1"> <tr> <th>会場</th> <th>定員</th> </tr> <tr> <td>本院 新外来棟1階 カンファレンスルーム</td> <td>約20名 (事前申込不要)</td> </tr> </table>			会場
会場	定員				
本院 新外来棟1階 カンファレンスルーム	約20名 (事前申込不要)				
2 近視進行予防 トライアル説明会 近視矯正手術 LASIK 説明会	1月21日(土) 13:00~14:00	前半は、小学生を対象とした近視進行予防トライアル(眼鏡およびオルソケラトロジー)の説明とトライアル参加可能かどうかのスクリーニングを行います。後半は、近視手術レーザー普及のための一般市民向け公開講座を行います。	無料	眼科 075-251-5578	
	<table border="1"> <tr> <th>会場</th> <th>定員</th> </tr> <tr> <td>京都府立医科大学 北臨床講義棟</td> <td>約100名 (事前申込不要)</td> </tr> </table>	会場			定員
会場	定員				
京都府立医科大学 北臨床講義棟	約100名 (事前申込不要)				
3 眼科府民講座 第3回 「緑内障」 第4回 「斜視弱視、ドライアイ」	第3回 1月21日(土) 第4回 3月17日(土)	患者さんへの情報提供のため年4回眼科が開催している一般市民向け公開講座です。第3回は「緑内障」、第4回は「斜視弱視、ドライアイ」をテーマにお話しします。	無料	眼科 075-251-5578	
	各回とも 14:00~16:00	<table border="1"> <tr> <th>会場</th> <th>定員</th> </tr> <tr> <td>京都府立医科大学 北臨床講義棟</td> <td>約100名 (事前申込不要)</td> </tr> </table>			会場
会場	定員				
京都府立医科大学 北臨床講義棟	約100名 (事前申込不要)				

## (2) 駐輪場の移転について

平成23年10月から駐輪場の一部を外来診療棟東側(鴨川側)に移転しました。また、満車時は、広小路キャンパス駐輪場(河原町通西側)が空いておりますので、ご利用ください。(下図参照)



## 病院ボランティアを 募集しています

本院では、より潤いのある病院にするため、ボランティア活動への参加をお願いしています。資格等は不要です。

新しく広がった新外来診療棟等での診療を円滑に進めるため、より多くの方のご参加をお願いします。

### 主な活動内容：

外来患者さんの受付のサポートや、院内の施設案内など

### お問合せ・お申込み先：

看護部(ボランティア・コーディネーター)  
075-251-5281

**休診日** 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

**初診受付時間** 午前8時45分~午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

敷地内は全面禁煙としております。皆様のご理解とご協力をお願いします。



京都府立医科大学附属病院

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

電話 075-251-5111 (代表)

HP <http://www.h.kpu-m.ac.jp>